

(一般・代表) 質問通告書

令和 6 年 8 月 29 日
8 時 45 分受付 ① 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和6年8月29日

会派名 みらいの会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒岩重彦

質問事項

1. 令和5年度決算分析に基づくこれからの財政運営について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

今議会に提案されている令和5年度一般会計の決算状況だが、市税が1億4千5百万円程減で前年度比2.1%減となるものの、地方交付税が1億5千2百万円超の増加で3.4%の増となり、また市の貯金に当たる基金については、庁舎建設基金に1億円、公共施設等整備基金に2億円、財政調整基金においては4億4千万円を超える額の積立てを行っており、基金全体の積立総額としては7億円超増加し、約66億6千7百万円と大幅な増となっている。

また、市の借金に当たる市債の残高については、令和4年度末173億3千万円程あったものが6億4千万円程減少し、166億9千万円となり大幅な減となり、実質公債費比率も前年度より、0.7ポイント改善し6.8%となっている。

これらの決算分析によれば、令和5年度においては財政の健全性を確保していると捉えられるが、今後において歳入面では少子高齢化等の進展により市税の大幅な増加は見込めない中、歳出面では災害・治水対策、大型の公共施設建て替え、子育て支援施策の充実、高齢化や物価・人件費上昇等に伴う扶助費の増加など財政需要が増大していくと予想される。

このような状況を踏まえ、これからの財政運営をどのように取り組んでいくのか市としての見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 令和5年度決算を受けて本市の財政状況をどのように分析されているのか。
- (2) 長期的視点に立った財政運営はどのように考えているのか。
- (3) 大型公共事業に伴う新たな市債の借入れは将来の財政運営に支障はないのか。
- (4) 財政調整基金の積立額に対する市としての見解について問う。
- (5) 自主財源の今後の見込みとふるさと納税等の財源確保の取り組みについて問う。
- (6) 政策サイクルとして予算編成と決算評価の連動についてどう考えているのか。

質問事項

2. 交通渋滞等に対応したこれからの道路行政について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

道路は私たちの日々の生活、社会活動、経済活動になくてはならないものであり、人や物資を早く安全確実に移動させる空間でもあり、まちの防災空間でもある。また、その道路の下には、水道、下水道、電気、ガスなどのライフラインも収容されており、住民の安全が確保されるものであり、ひいては地域や市の発展につながるものと思われる。

最近、住宅や商業施設などの開発に伴い、国道・県道・市道それぞれに交通量が増加し交通

渋滞が頻繁に発生している。住民生活をより良くするためには、渋滞の解消など交通アクセスの改善は大変重要であり、住民視点に立って積極的にその解決策を取り組んでいくべきと考えるが市としての見解を問う。

また、国道、県道の交通量調査を国が5年毎に実施されているようであるが、その調査の目的とそれは何のために活用されているのか伺う。併せてその調査結果を受けて、本市として計画はあるものの、一向に着手されない都市計画道路の整備促進について、市としての見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 住民視点に立った交通渋滞対策について問う。
- (2) 都市計画道路「原田駅東福童線」の渋滞解消のためにどのように考えているのか。
- (3) 宝満川右岸地区の縦のラインである幹線道路の整備について市としての見解を問う。
- (4) 国道・県道の道路管理者である国・県との連携した取り組みについて問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和6年8月22日
14時23分 受付1番

令和6年8月22日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

質問事項

1. 小郡市における開発の手法について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

土地利用をするにあたり、様々なまちづくり構想が打ち出されているが、具体的にどんな手法をつかってまちづくりをされるのかを問う。
又、人口減対策としての具体的施策を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現在行っている都市計画法第34条の第11号及び第12号の現状と課題はどうかを問う。
- (2) 地区計画の現状について地元及び県との協議中の件数とその課題は何かを問う。
- (3) 市街化区域編入の計画と今後の見通しを問う。

質問事項

2. 農地の一時転用の制度について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

農地の一時転用をされて資材置き場等に利用されている実態があるが、一時転用後の農地への原状回復の指導はどうなるのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 一時転用されている農地の種類はどんなものがあるかを問う。
- (2) 一時転用だから期間が過ぎれば農地への原状回復だと考えるが実態はどうかを問う。
- (3) 原状回復のための具体的指導はどうか。又違反した場合はどうなるのかを問う。

令和6年8月22日
15時25分 受付2番

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和6年8月22日

会派名 公明党

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田典彦

質問事項

1. 障がい者の情報取得について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

全ての障がい者が、障がいの有無によって分け隔てられることのない社会をめざし、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が2022年5月に施行された。ところが、今でも視覚障がい者にとっては、情報の取得や利用に多くの苦労がある。そのような状況の中で小郡市では視覚障がい者に対して情報の取得や利用の為にどのような取り組みを行っているか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 本市における視覚障がい者の人数はどれくらいかを問う。
- (2) 文字情報の音声化 (音声コード) の利用者数を問う。
- (3) 本市の音声コードを使った印刷物はどれくらいあるか具体的に問う。
- (4) 音声コードを本市の広報紙、通知文、投票用紙などに活用できないかを問う。

質問事項

2. 命を守る自転車用ヘルメットの定着について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

昨年4月施行の改正道路交通法で自転車に乗る全ての人に努力義務が課されたヘルメット着用について同年4月から12月の自転車事故死傷者の着用率が14.7%にとどまっている。

本市において着用する習慣を定着させるための取組みを問う。また自転車による歩行者の死亡重症事故を防ぐための安全対策はどのように行っているか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 自転車の安全対策はどのように行っているかを問う。
- (2) 自転車用ヘルメットの着用状況を問う。
- (3) 着用率を上げるための取組みを具体的に問う。
- (4) ヘルメット購入を経済的負担と感じる市民に対し購入助成はできないかを問う。

(一般)代表)質問通告書

令和6年8月26日
13時20分 受付3番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月 29日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

質問事項

1. 生理の貧困問題について

(市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

経済的な理由などによって生理用品を購入することが困難な状態にある「生理の貧困」の問題は、新型コロナウイルスの感染拡大により顕在化した。生理の貧困は、経済的理由だけでなく、心身への健康状態の影響や学業・仕事などに集中できない、または、やむを得ず休まなければならないなど社会生活に影響を及ぼす可能性がある。ジェンダー平等の観点から女性の社会進出への機会喪失に繋がることも考えられる。よって生理の貧困は、女性に関わる重要な問題と捉えている。これらのことから、対象者に対し生理用品の提供、特に未来を担う子どもたちへ継続的な提供支援が必要と考える。

そこで、生理の貧困の現状および現在行っている取組みや今後の対策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 生理の貧困による女性の心身の健康状態、日常生活への影響等について現状をどのように捉えているのかについて問う。
- (2) 生理の貧困に対し、現在の取組みについて問う。
- (3) 生理の貧困に対し、今後の対策について問う。

質問事項

2. 重層的支援体制整備事業の取組みについて

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

重層的支援体制整備事業は、これまでの福祉制度や地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の支援体制では課題があることから、社会福祉法の改正により新たな事業として令和3年4月に創設された。

この重層的支援体制整備事業では、相談等に対して断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することを必須としている。

そこで、小郡市での支援体制がどのように行われているかについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 属性を問わない相談支援の現状と今後の展開について問う。
- (2) 参加支援の現状と今後の展開について問う。
- (3) 地域づくりに向けた支援と今後の展開について問う。
- (4) 上記3つの支援を一体的に行うための考えを問う。

一般(代表)質問通告書

令和 6年8月 26日

16時 7分受付 4番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月26日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 新原 善信

質問事項

1. 小郡市人口ビジョンと第3期小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、来年3月の第3期小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂に向け策定に取り組んでいる。この戦略は、小郡市の中長期にわたる人口の推移を分析予測し、それに基づく持続可能な経済や安定した地域づくりの見通しを立てるものである。平成29年の第1期戦略以来、これまで4つの基本目標①雇用創出②新しい人の流れ③若い世代の結婚・出産・子育て④安心できる地域づくりに取り組んできた。そこで、これまでの成果と課題および、それに基づく第3期の戦略について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 第2期戦略で設定されたKPI (重要業績評価指標) の達成度はどうなっているか。
- (2) 最新の人口ビジョンで見えてきた校区別の課題は何か。
- (3) 校区別の戦略 (構想) をどうするか。

質問事項

2. 学童保育の現状と課題について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市の学童保育所は、平成3年1月に初めて三国学童保育所が開所してから今年で33年を迎える。令和2年度からは各学童保育所運営委員会 (保護者会) が合同で立ち上げた「NPO法人学童保育おごおり」が運営を行っていて、現在19教室853人の児童を受け入れている。このことにより、児童には放課後等に適切な遊びと生活の場が提供され、保護者は、安心して働くことができている。今後も良好な環境で過ごすためには、さらなる施設設備の整備および適切な支援員の配置が欠かせない。そこで、現在の状況と今後の計画を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現在の学童保育所の施設設備および支援員の配置状況はどうなっているか。
- (2) 直面する課題は何か。
- (3) 今後の施設整備計画はどうなっているか。
- (4) 今後、安定した支援員の配置のために取り組むべき課題は何か。

一般質問通告書

令和 6 年 8 月 27 日
15 時 00 分受付 5 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6 年 8 月 27 日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

1. 学校現場における熱中症対策について (教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

今年の夏も毎日、酷暑が続いた。連日、最高気温が 35℃を越え、少し外出するだけで倒れそうになるくらいひどく、まさに災害級と言っても過言では無いほどだった。

そのような中で熱中症予防について、市も市民に対して SNS などでお知らせしていたし、今年からクーリングシェルターも指定した。では、学校現場における熱中症対策はどのようになっているのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 水泳の授業も熱中症の危険があるが、授業を中止する基準はどのようになっているか。
また、プールサイドのコンクリート上を歩くと火傷の危険性があるが、対策はどのようにしているのか。
- (2) 運動会を秋にしている学校はあるのか。あれば熱中症対策はどのようにしているのか。
- (3) 熱中症対策に水分補給は必須だが、学校に飲料の自動販売機を設置できないか。

質問事項

2. 生成AIの活用について (市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

生成 AI が開発され、日々、技術革新やサービス開発など、想像以上のスピードで進んでいる。生成 AI の発展と普及が様々な場面で進んでいる中で、地方公共団体や学校などでも活用が始まっている。小郡市における生成 AI に対する考え方、ならびに今後の活用についてどのように考えているかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市における生成 AI の導入状況について問う。
- (2) 学校現場における生成 AI への考え方について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和6年8月28日
9時30分 受付6番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和6年8月28日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小野 壽義

質問事項

1. 中学校部活動の熱中症対策について

(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

日本は毎年温暖化が進み、特に今年の夏の猛暑は災害級の異常気象である。これは豪雨と同じように高温による災害と考える。小郡市でも、毎日熱中症警戒アラートが発表され、運動は危険、中止しましょうと注意喚起をしている。

そこで、中学校での部活動について特別な熱中症対策などを取っているのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) グラウンドを使用して行っている部活動は時間帯を考慮する必要があると考えるが、対応を問う。
- (2) グラウンドに休憩できる場所設置の考えを問う。
- (3) 体育館を使用して行っている部活動は、どのような対策を取っているかを問う。
- (4) 体育館の空調設備ができないか問う。
- (5) 体育館の空調設備は国、県の対応が不可欠と考えるが、国、県の対応を問う。
- (6) 体育館は災害時避難所として使用可能のため、空調設備があれば市民の安心に繋がるが市の考えを問う。

質問事項

2. 道路の維持管理とコミュニティバス停の撤去について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市民が安全に生活できるための環境に道路の維持管理は欠かせないと考える。特に緩やかにカーブしている道路は、道路敷きに雑草や竹が生い茂り対向車が見えづらく危険が伴うことがある。市の道路維持管理としては道路敷きも含まれると考えるが定期的な点検や管理、また、必要があれば工事などの対策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 道路の盛り土、切土の道路境界を問う。
- (2) 道路管理上、危険な箇所の工事対策が優先と考えるが、対応を問う。
- (3) 危険箇所は区より改修要望が各区より出ているが、対応を問う。
- (4) コミュニティバス停の撤去はいつ行なわれるのかを問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 6年 8月 28日
13時 13分受付 7番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月 28日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 深川 博英

質問事項

1. 宝満川河川改修(甘木鉄道架け替え)事業について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

宝満川は小郡市民にとってかかわりが深く、また、治水上大変重要な河川であり、宝満川の水位を下げる事が重要であると考えます。

河川管理者である国や福岡県が堤防の嵩上げ工事や浚渫等を行っているが、現在、大きな事業として甘木鉄道の架け替えを伴う宝満川の河川改修事業が行われていると伺っているが、その事業の計画や効果を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 完成時期及び総事業費について問う。
- (2) 現在の進捗状況や今後のスケジュールを問う。
- (3) 甘木鉄道の架け替えに伴う利用者への影響を問う。
- (4) 完成後の効果を問う。

質問事項

2. 高速高架下の地域交流ひろばの活用について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和5年4月から小郡駅の近くの高速高架下駐輪場の一部を小郡駅周辺市街地の活性化の拠点として利用が可能になったが現在の利用状況を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 利用時における課題について問う。
- (2) 今後の活用について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 6年 8月 29日
8時 48分受付 8番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月 29日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員

小坪 輝美 _____

質問事項

1. 共生社会の実現に向けた認知症施策について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

急速な高齢化の進展に伴い、認知症の方が増加している。高齢者の約3.6人に1人が認知症又はその予備軍ともいわれる状況だ。こうした中で、2023年6月共生社会の実現を推進するための認知症基本法が成立、2024年1月に施行された。

認知症になったら何もできないのではなく、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、役割を果たし、自分らしく暮らしたいという希望があることなど、認知症の人が基本的人権を有する個人として、認知症とともに希望をもって生きるという考え方に立った施策を進めることが重要とされている。

そこで、基本法を踏まえた今後の小郡市の認知症施策についての考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 認知症の方の現状と今後の予測についての見解 (軽度認知障害を含めた人数及びここ10年の推移と今後10年の予測含む) を問う。
- (2) 現在の取り組みと到達点を問う。
- (3) 今後の取り組みについて問う。

質問事項

2. 重要土地等調査法について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

これは、2021年に外国資本による土地取引の規制を名目に成立し、2022年9月から施行されている。法律では、自衛隊基地や原子力発電所といった重要インフラ施設の周囲1キロ、それに国境に近い離島等を注視区域に指定し、国が土地等の所有者の氏名や国籍等を調査できるとしている。

本市では、陸上自衛隊駐屯地の周囲1キロが「注視区域」に指定されているが、ほとんどの方がご存じないのではないかと。

私は国から得ている情報の市民への開示や市の対応と経過について、広く市民に知らせるべきだと考えるが、市の見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 注視区域に指定されるまでの経過と具体的な区域を問う。
- (2) 注視区域候補に挙がってから行われた政府からの意見聴取を問う。
- (3) 指定されることでの市民への影響を問う。

一般(代表)質問通告書

令和 6年 8月 29日
8時 55分受付 9番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月 29日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員

橋間 順平 _____

質問事項

1. 小郡市の農業政策について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、農業に適した平坦な土地、温暖な気候、良好な土壌、恵まれた農業用水などの自然条件に恵まれている。農業を基幹産業と位置付けられ、安定的な農業経営の為に条件整備が行われた。農業を取り巻く情勢は大変厳しく、年々農業従事者及び耕作面積が減少、また、後継者不足と高齢化が進んでいる。課題を解決、生産力を向上させる為、スマート農業の推進や農地、経営の大規模化、農作物のブランド化等の農業政策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市の作物作付けの現状と課題について問う。
- (2) 高収益作物の産地としての取組方針・目標について問う。
- (3) 米トレーサビリティ制度について問う。
- (4) 施設園芸等燃料高騰対策について問う。
- (5) 生産緑地制度について問う。
- (6) 農作物のブランド化について問う。
- (7) ため池管理について問う。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月 29日
9時 26分受付 10番

令和 6年 8月 29日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 山田 忠

質問事項

1. 通学路の安全対策について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

文部科学省は、平成24年度、公立小学校及び公立特別支援学校小学部の通学路において、交通安全の確保に向けた緊急合同点検を全国で実施し、関係機関との連携により通学路の安全対策を実施した。現在では、地域で子どもを育てようという意識が広まり、登下校の見守りや、青パト、「子ども110番の家」の活動が行われている。通学路における子どもたちの安全確保のためには、関係者が連携して通学路の安全点検を行い、危険個所については早急に対策を講じる必要があると考える。子どもたちの通学時の安全確保について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 通学路の安全点検がいつどのように行われているか。
- (2) 通学路の指定や変更はどのように検討しているのか。
- (3) 小郡市交通安全プログラムに基づく点検の実施及び地域連携の構築状況はどうなっているか。
- (4) 標識、標示、カラー舗装等の要望個所数と設置数はどのくらいか。
- (5) ガードパイプなど防護柵の設置は安全な通行を確保する有効な手段と考えるがどうか。

①(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月 29日

11時 58分受付11番

令和 6年 8月 29日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場 美紀

質問事項

1. 高齢者ドライバーによる悲惨な事故を防止するために (市長)

質問要旨(課題・問題点等)

高齢者ドライバーによる事故のニュースが後を絶たず、本人・ご家族も不安を隠せないが、免許証を返納することに躊躇している方が多いのが実情である。現実問題として高齢者にとって、これまで慣れ親しんだ車の運転が自立した生活の生命線であり、人や地域とのつながりを維持するものでもある。

免許証の返納を推進するために、公共交通の在り方を更に考えていく必要があるが、免許証返納に至るまでの高齢者の事故防止策に取り組む必要があると考える。市の見解を問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 高齢者ドライバーへの事故防止に対する啓発はどのようにしているのかを問う。
- (2) 高齢者ドライバーは免許証返納を見据えている方も多く、サポカー搭載されている新車へ買い替えるのは負担が大きいとの声が多くある。安全運転支援装置を自動車へ後付けする際の補助制度についての見解を問う。

質問事項

2. 沖縄県本部町との『友好のまち』締結後の交流について (市長)

質問要旨(課題・問題点等)

平成29年11月に、小郡市・沖縄県本部町・みい青年会議所・本部町商工会青年部の四者で『友好のまち』協定が締結されました。長きに渡る少年の船等の民間交流がきっかけとなり、全国でも珍しいと思われる民間団体含めた四者での締結。この協定締結をどのように活かしていきたいのかが見えてこない。『友好のまち』との交流を推進する上で、行政と協力団体はもちろん、広く市民へ周知し協力していただくことが必要と考えるが、市の見解を問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 市が考える『友好のまち』の定義、今後目指す方向性について問う。
- (2) 締結後からの交流の実績について問う。
- (3) 協定では、観光や産業をはじめ、幅広い分野での交流を通して発展、連携を深めていくことや災害時に相互復興協力することが示されている。それらの進捗について問う。

（一般・代表）質問通告書

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場 美紀

質問事項

3. 困難を抱える子どもや保護者のために （市長・教育長）

質問要旨（課題・問題点等）

近年、安心して過ごせる子どもの居場所や保護者の心の負担軽減のため居場所の必要性を感じ、居場所づくりを実施する団体が増えてきている。市として子どもや保護者の居場所についてどのように捉えているかを伺う。また学校に行きづらさを抱える児童生徒や保護者のために、市教育支援センターの充実を求める声があるが、市の見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 居場所作りの必要性をどのように考えているか。市民団体と柔軟に連携を図っていく必要があると考えるが市の見解を問う。
- (2) 市教育センターへ行かせたいが、移動手段がなくあきらめている保護者もいると聞くが、解決に向けてどのように考えているのかを問う。
- (3) 市教育支援センターでの給食について、どのように考えているかを問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 6年 8月 29日
12時 02分受付 12番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 6年 8月 29日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 後藤 理 恵

質問事項

1. ICT 教育推進について

(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市では、文部科学省の GIGA スクール構想を受け、市内小中学校に在籍する全ての児童生徒に一人一台のタブレット端末を貸与し、授業などでの効果的な活用、家庭での主体的な活用を進められている。また、各家庭においては、タブレット端末でインターネットを利用した調べ学習や課題やドリル学習などに活用されている。

タブレット活用開始から3年が過ぎ、これまで教育の ICT 化の推進に取り組まれた成果と課題について尋ねる。また、予定される端末の整備・更新計画と、それに伴う財政負担や、幅広い世代の市民が利用出来る更新対象端末の活用施策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) ICT 教育推進体制について問う。
- (2) ICT 教育推進の成果について問う。
- (3) ICT 教育推進の課題について問う。
- (4) 端末の整備・更新計画と財政負担について問う。
- (5) 更新対象端末の利活用について問う。